



《みんななかよし》



★「子育てひろば」や「なかよしひろば」では、安全のため生後1か月を過ぎた未就園児のお子様を参加対象としています。



★子育てひろば★

★お茶の時間がありますので、水筒をお持ちください。



わくわく★シアター



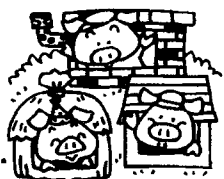
10月3日(火)

時間) 10:00~11:30

場所) ひれふりランド1階
・和室

パネルシアター「3匹のこぶた」のお話を歌に合わせて、楽しみましょう。

絵本とは、違った視覚でのお話を体験してみませんか。



どんぐりマラカス作り



10月10日(火)

時間) 10:00~11:30

場所) 浜玉町農村環境改善センター
(浜玉町五反田唐津市立玉島小学校の隣)

どんぐり、ペットボトルなどの空き容器を使って簡単なマラカスを作ってみませんか。

どんぐりの音ってどんな音かな…



コシオペイントでお絵描き



10月17日(火)

時間) 10:00~11:30

場所) ひれふりランド1階
・和室

小麦粉と塩を使ってお絵描きをしましょう。

“ぷっくり”とした出来上がりが、とてもかわいいですよ。



段ボールであそぼう

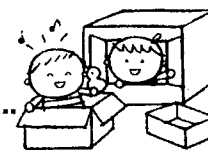


10月24日(火)

時間) 10:00~11:30

場所) 浜玉町農村環境改善センター
(浜玉町五反田唐津市立玉島小学校の隣)

段ボールで作った“玉入れ”や“車”、“キッチンセット”などのさまざまな手作りおもちゃであそんでみましょう。



☆感染症(新型コロナウイルス、インフルエンザ等)の状況によっては、内容の変更等があるかもしれません。詳細は携帯掲示板「はなまる連絡帳」または「双葉保育園ホームページ」に掲載いたしますので、ご確認をよろしくお願いいたします。

〈いずれも問い合わせ先: 双葉保育園(担当:岡崎) 浜玉町浜崎 TEL56-8385〉

◎はなまる連絡帳
<http://h-futaba.renrak.mobi/>

◎双葉保育園ホームページ
<http://www.futabahoikuen.jp/>





双葉保育園子育て支援センターからのお知らせ

●なかよしひろば●

☆「子育てひろば」以外の毎週月・水～金曜日 10時～15時、火曜日 13時30分～16時30分、土曜日 8時30分～13時30分まで保育園のなかよしルームや園庭であそんだり、保育園にあるおもちゃや遊具を利用してあそびます。



※ご利用の際は、事前に電話にてお問い合わせください。



●園庭開放●

☆月～金曜日 10時～15時まで行っています。
“保育園の固定遊具であそばせたい！”と
思っているお父さん、お母さん、
あそびにおいでください。



●子育て相談●

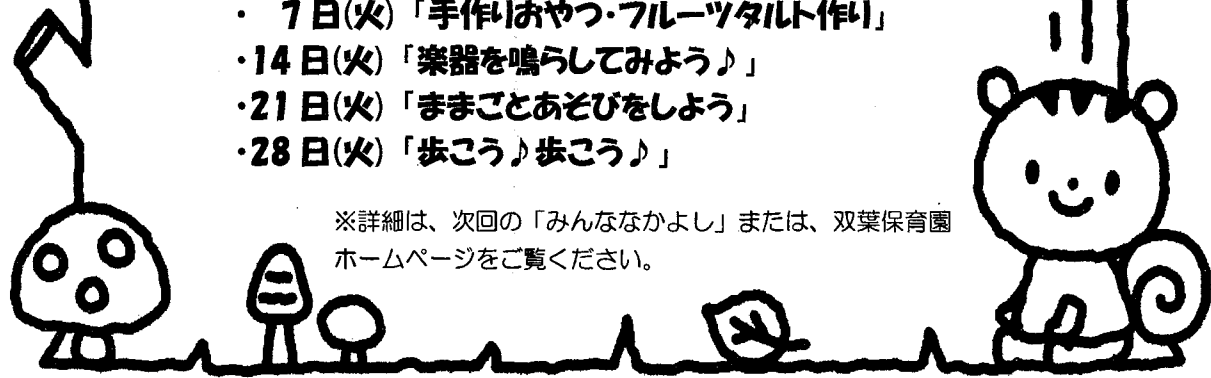
☆月～金曜日の9時～17時、土曜日の9時～14時まで開設していますので、ご遠慮なく電話で相談させていただきます。



☆11月の子育てひろばの予定です☆

- ・7日(火)「手作りおやつ・フルーツタルト作り」
- ・14日(火)「楽器を鳴らしてみよう♪」
- ・21日(火)「ままごとあそびをしよう」
- ・28日(火)「歩こう♪歩こう♪」

※詳細は、次回の「みんななかよし」または、双葉保育園ホームページをご覧ください。



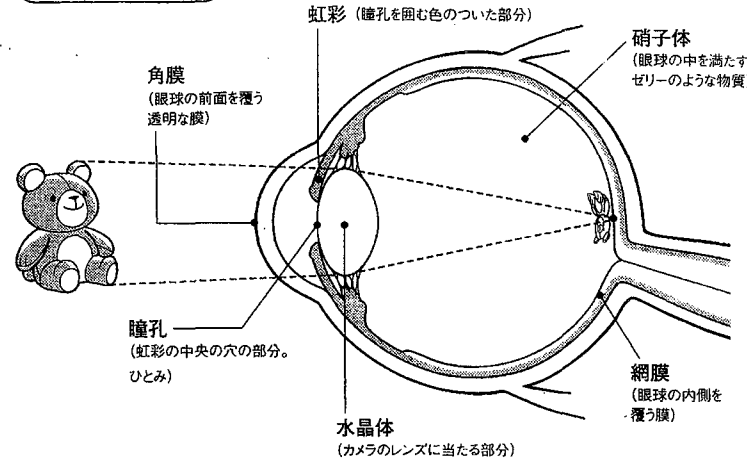
目のことで気になることがあった時には、
早めにかかりつけの眼科へ行きましょう！



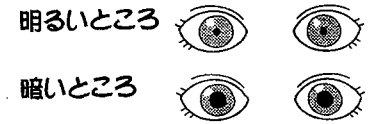
◆見える仕組みと子どもの近視予防を考える◆

わたしたちは、目から多くの情報を得ることで、生活をしています。そして、幼児期は視力が発達する大切な時期です。見える仕組みを理解し、健康な目で過ごせるようにしていきましょう。

目のつくり



◎明るさの調整



明るさの調整は「虹彩」で行っています。虹彩はカメラの絞りと同じような動きをしています。虹彩は角膜の内側にあり、瞳孔以外の水晶体を覆っています。明るいところでは瞳孔が小さくなり、暗いところでは、瞳孔が大きくなります。

目の見える仕組みは、カメラとよく似ています。外から来た光(映像)が角膜を通り、水晶体、硝子体を通して、網膜に到達します。

この映像は上下左右が逆さまになっていますが、脳に伝えられる時に、正しい向きに組み直されて、認識します。

子どもの近視と予防！



【近視になると】

近視になると、近くのはっきり見えますが、遠くのものぼやけて見えます。

近視になる要因としては、遺伝的なものと環境的なものの両方が関係していると考えられています。遺伝的要因は、先祖や両親から受け継いでいる遺伝子によって生じるものです。環境要因としては、近いところを見る作業が増えたことと、外あそびの減少です。外あそびが少ない子どもは近視になりやすいといわれています。

【近視と将来の目の病気】

低年齢で近視が始まると、どんどん近視度数が進行してしまい、おとなになる頃には強度の近視になる可能性が高くなります。強度近視になると、さまざまな病気になる危険性が高まることが知られています。

【近視を予防するためには】

子どもの近視の増加は世界的な問題になっています。原因の一つに外あそびの減少があげられます。日光に当たり、外あそびをすることが近視予防になるといわれています。目安としては、1日2時間程度外で活動しましょう。直射日光に長い間当たらずともよく、木陰くらいの明るさがあるところで構いません。

※太陽を直接見てはいけません。



絵本などを読む時やスマートフォン(以下スマホ)、タブレットを使用する時には、30cm以上離して、姿勢をよくするようにします。また、子ども一人で見るのではなく、親子で一緒に見るようにし、子どもが画面に近づいて見過ぎないように注意します。スマホなどの利用時間を決めることも大切です。

